

# ブレーカーズ

## 「ゴールボール」

作成：藤田 武士（茨城県立協和特別支援学校）

第0時



### 1 本時のねらい

ルールを知り、ゴールボールに興味をもつことができる

### 2 本時の展開例

## 指導内容

### 事前の学習

#### 1 パラ陸上の仕組みについて知る

- ワークシートに記載した参考資料や、その他、自分たちで調べた資料を元に、ワークシート①にルールをまとめる。

#### 2 ブレーカーズの1話から4話を視聴する

- 動画を視聴する際に、「エミの気持ちの変化」に着目することを伝える。
- その他、大まかにルールについても知ることができるとよいことも伝える。

※ 1の調べ学習、2の動画視聴、どちらを先にやってもよい。児童の興味関心に基づき、選択していいことを伝える。

### 参考資料

一般社団法人 日本ゴールボール協会 オフィシャルサイト



NHK 東京2020パラリンピック特設サイト「ゴールボール」



### 事前学習用

NHK for school ブレーカーズ ～ゴールボール～





## 1 本時のねらい

アイマスクをつけての歩行体験やゴールボール体験する

## 2 本時の展開例

### 指導内容

導入

#### 1 ブレイカーズについて振り返る

- 2人一組で取り組む
- アイマスクを用意し、片方の児童がアイマスクをする
- ボールは、専用のボールがあれば望ましいが、学校にない場合がほとんどであると思われるので、以下の方法を提案。
  - 案1 モルテンすず入りボール を購入 2,500円(税抜)
  - 案2 すず入りビーチボールを購入(ホームセンター等で販売している(夏季))
  - 案3 新聞紙を丸めてボールを作り、すずを数個埋め込む
  - 案4 古くなったサッカーボールやバレーボールに小さな切り込みを入れ、すずを入れ、切れ込みをガムテープなどで閉じる
  - 案5 猫などのおもちゃで販売しているすず入りのボール(少し小さい)

#### 注意事項

- 視界を遮って活動するので、絶対にふざけない(ケガ防止)
- ほとんどの児童が初めて体験する活動なので、無理をしない
- 友達同士の間を十分に確保し、必要に応じていくつかのグループに分けて活動する

展開

#### 2 歩行体験

- アイマスクを付けている児童は、誘導してくれる児童の肘のあたりを軽く掴む。
- 誘導する児童は、アイマスクを付けている児童に、次にどう動くのか、道の状態はどんな風なのか、具体的な言葉かけをしながらゆっくり歩く。
- 途中で交代して、アイマスクと誘導、両方を体験する。
- ▶どのように言葉を掛ければいいのか、どのように言葉を掛けてもらうと安心するか、そうした視点で感想を言い合う。

#### 3 ゴールボールキャッチ体験

- アイマスクを付ける児童と、ボールを転がす児童に分かれる。
- はじめは短い距離から、3~5mくらい離れて、ボールを転がし、アイマスクを付けている児童がキャッチする。
- 慣れるまでは、転がす方向を伝えてから転がす。(例)「正面ね」、「右側行くよ」など
- 慣れてきたら、「行くよ!」などという掛け声だけで転がす。
  - ※アイマスクを付けた児童が届く範囲に転がす。
- 途中で交代して、お互いが体験する。
- ▶タブレット端末があれば、取り組んでいる様子を動画で撮影し、振り返りに活用する。

# ブレーカーズ



## 「ゴールボール」

### 第1時 ②

作成：藤田 武士（茨城県立協和特別支援学校）

#### 1 本時のねらい

アイマスクをつけての歩行体験やゴールボール体験する

#### 2 本時の展開例

### 指導内容

#### 終末

#### 4 共有する

- うまくいなくて悔しかった、むずかしかったことや、うまくできたときの気持ちやうれしさなどを共有できるとよい。

※モルテンすず入りボール <https://www.molten.co.jp/sports/jp/other/product/product01/detail/g2c2000-sk.html>

#### ★ 第1時以降における体験活動の全体的な注意事項

2人一組や用具を使っでの活動となるので、以下の内容について配慮することを心がける。

ソーシャル・ディスタンスを十分にとる

マスクの着用(季節、気候によっては状況によって着脱することも考えられる)

活動で使用した用具等の消毒



作成:藤田 武士(茨城県立協和特別支援学校)

## 1 本時のねらい

エミの気持ちの変化に気付くことができる

## 2 本時の展開例

### 指導内容

#### 導入

#### 1 ワークシートに「体験した感想」を記入する

- 前時の終末で共有した感想をワークシートにまとめる。
  - ▶ 楽しかった・・・という感想だけではなく、うまくいなくて悔しかった、むずかしかったことや、うまくできたときの気持ちやうれしさなどを共有できるとよい。
- 体験前と体験後の自分の心の変化についても振り返られるようにしておく。

#### 展開

#### 2 ワークシートに「エミの気持ちの変化を表す台詞」を書き出す

- 各話でエミの心の変化が現れている台詞や場面があるので、それらを抜き出し、心(気持ち)の移り変わりを知ることができるようにする。  
※指導者側も、事前に動画を視聴し、心の変化を抜き出しておくとうい。

#### 3 エミの気持ちがどのように変化したのかに気づき、自分が体験した時の気持ちの変化と見比べてみる

- 1と2でアウトプットした感想や台詞の変化を元に、自分自身と照らし合わせて、心や気持ちの変化を見比べ、考えてみる。
- 自分自身の生活の中で、エミと同じような経験があるか(あったか)どうか思いだし、これからの生活に今回の授業をどのように生かしていくとよいのか考えてみる。

#### 終末

#### 4 エミの「可能性の扉」について考える

- エミ自身の「可能性の扉」はなんだったのか、「可能性の扉」を開くために乗り越えるべき壁はなんだったのかを考えてみる。

## プラスαの取り組み

- 体験したことを写真とともに簡単な感想(ポエム・川柳など)を添えて、A4用紙1枚程度にまとめてみてもよいと思う。  
(国語科との連携)  
(情報活用能力)



回転投げ  
体じゃなくて  
目が回る